

宣言の目的・内容等について

(1) 目的

- ・ フィランソロピーの普及・促進（呼び起こし）と大阪がフィランソロピーの国際拠点都市となることの意味表示
- ・ 大阪が、官民挙げて世界のフィランソロピー資金を最も効果的に使用できる都市であることを発信し、日本・世界中から第2の動脈（フィランソロピー・キャピタル）として資金や人材を集める呼び水に
- ・ 公益活動の担い手へのメッセージ（縦割りを越えた新たな連携・協働など）

(2) 内容

- ・ 内容については、フィランソロピー会議メンバーで議論・検討する
- ・ 議論のベースとして事務局よりたたき台を示す

(3) クレジット

- ・ 「民都・大阪」フィランソロピー会議

(4) 時期

平成30年5月（第1回大会「（仮称）フィランソロピー大会OSAKA2018」）

(5) 手続き

- ・ 第1回「民都・大阪」フィランソロピー会議で議論
- ・ 大会までに内容を確定（会議で議論の後、会長・事務局に一任（または個々に会議メンバーの了承をとる）等）
- ・ 大会の開催案内として事務局よりプレスリリース（宣言すること自体のプレスリリースは行なわない。）
- ・ 第1回大会で宣言（会長の読み上げなど）
- ・ 大会後、宣言文をホームページなどで公表（事務局（府市）に加え、関係団体より広く発信）

(6) 多言語化対応

- ・ 世界に発信していくため、宣言文を多言語化してホームページ等に掲載
- 対象言語：日本語、英語、中国語、韓国語

(7) 賛同者について

- ・ 公益活動を行なう団体等、フィランソロピスト・寄付者等、の両者に賛同を求める。

宣言のたたき台の内容について

「民都・大阪」フィランソロピー会議における議論の参考として、現在、府・市のHPに掲載している内容をベースにしたフィランソロピー都市宣言のたたき台を示し、議論する。

【たたき台 文案】

世界では、寄附や投資等を通じた公益活動（フィランソロピー）が、社会的課題解決の第三の道として新たな時代の潮流となっており、わが国においても、NPOや社会的企業など新たな公共の担い手の増加、CSR（企業の社会的責任）への関心が進んでいる。

都市発展の歴史において民の力が大きな役割を果たしてきた大阪は、「民都」として、民の力を最大限に活かす都市を実現し、日本・世界中から第2の動脈（フィランソロピー・キャピタル）として資金や人材を集め、民が主体となったこれまでにない社会的課題解決の実現、ソーシャルイノベーションの創出を行っていく。

そして、「フィランソロピーにおける国際的な拠点都市」として、フィランソロピーの促進を通じた新たな産業や市場、雇用を生み出し、大阪そして日本の成長につなげるとともに、「民」主役の社会づくりを世界に発信する。

われわれは、大阪を、フィランソロピーを通じて世界の社会的課題解決に貢献し、新たな未来を生み出す都市として、ここに「フィランソロピー都市」を宣言する。

平成30年 月 日 「民都・大阪」フィランソロピー会議

フィランソロピー都市宣言について（論点 2 / 3）

賛同者の募り方

(1) 賛同を募る目的

- ・大阪がフィランソロピーの国際拠点都市となるためには、国内外からの幅広い認知が必要。そのため、国内外の民間公益活動に関わる多くの方々からフィランソロピー都市宣言に対する賛同を募り・発信する。
- ・また、大阪が名実共に「民都」として、民の力を最大限活かし新たな未来を生み出す都市となり民主役の社会づくりを進めていくためには、多様な主体による具体的な行動の積み重ねが必要。そうした「民都・大阪」の実現に向けた民の皆さんのそれぞれの行動を、宣言という形で募り・発信する。
- ・これらにより、大阪に第2の動脈として資金や人材を集めると共に、法人格の縦割りを超えた連携や協働を生み出すことで、民間公益活動の活性化につなげ「民都・大阪」を実現する

(2) 都市宣言に対する国内外からの賛同

フィランソロピー都市宣言の趣旨や「民都・大阪」フィランソロピー会議の取組みに賛同いただける方を、宣言文に名を連ねていただく形で事務局HPに掲載

(3) 自らの行動宣言を伴う賛同

都市宣言の趣旨等に賛同し、自らも「民都・大阪」の実現に向けて行動する旨を宣言いただく方を、行動宣言と共に、事務局HPに掲載

行動宣言について、多言語による宣言、動画による宣言などへの対応については検討が必要
賛同者が寄付を求められる等もありうるため、名称等の公表は賛同者の選択制とする

(4) 賛同者の範囲・ボリュームについて

- ・目的を踏まえ、その範囲や対象など、賛同を募り・発信することに関する運用ルールは必要
- ・また、賛同者の確保について、一定の目標設定の要否も検討が必要

(5) 募集時期

- ・第1回大会において宣言を行った後、事務局HPなどで賛同者を募る

(6) 募集方法

原則公募とする。

事務局（府市）HPで公募するほか、会議メンバーや関係団体にもアナウンスについて協力を依頼し、拡げていく。

（大阪NPOセンター、大阪ボランティア協会、「大阪を変える！」100人会議、社会福祉協議会など）

フィランソロピー都市宣言について（論点 3 / 3）

賛同を募る場合の運用ルールについて

(1) 賛同者について

- ・原則として、国内外から幅広く賛同を募る（営利・非営利、法人格による限定、法人・個人の限定も行わない）
ただし、行動宣言を伴う賛同について、その行動の内容が「民都・大阪」の実現につながるものであることが必要

(2) 行動宣言の内容について

- ・大阪で民間公益活動を行う(大阪の活動を応援する)ものを対象とし、活動(応援先)が大阪以外であるものは除く
- ・また、事務局として府・市のHPに掲載するにあたり、フィランソロピー都市宣言の趣旨にそぐわないものや、「民都・大阪」の実現とはかけはなれたものなど、一定の禁止事項を設けることについて検討が必要
例：行動宣言の内容が、公序良俗に反するもの、暴力団に関わるもの、広告や宣伝、勧誘等の営業活動、政治的活動や選挙活動、宗教的活動と認められるもの など
- ・禁止事項に関して、適合性の判断（民都・大阪の実現につながるか否か等）を誰がどのような基準に基づいて行うか等についても検討が必要

(3) 賛同の手続き（届出）について

- ・事務局で、賛同者の届出内容について必要事項の記載の有無等をチェックの上、HPで公表
（府・市の電子申請システムの活用を検討）
- ・なりすましや、いたずら等を防止するために、届出に際して、賛同についてのルールや留意事項を定め明示する
例：各宣言者も自らHPへ掲載していることや、賛同者の登録内容（住所・連絡先等）に不備がないこと、禁止事項への該当や、なりすまし等が判明した場合はホームページから削除すること
- ・匿名希望など、全部または一部の情報の公表を希望しないケースへの対応も検討する

(4) 公表方法について

- ・事務局（府・市）HPにおいて一覧表形式で掲載。法人の賛同者と、個人の賛同者は分けて掲載
- ・掲載項目は検討が必要（例：個人の場合、氏名に加え職名・肩書き・ホームページURL等どうするか）
- ・行動宣言の内容について、年 月時点での宣言など時間軸での区切りの検討が必要

(参考) ホームページにおける公表イメージ

フィランソロピー都市宣言

「民都・大阪」フィランソロピー会議は、……のため、フィランソロピー都市宣言を行いました。現在も、法人・個人を問わず、広く宣言の趣旨に賛同いただける方や、同様の宣言をしていただける方を募っています。宣言に賛同いただける方、自分も宣言したいという方は大阪府市（事務局）電子申請システムから届出をお願いします。

宣言文（全文）

禁止事項については、
届出ページに記載

宣言に賛同いただいた団体・個人

これまでの賛同者 : 名（団体等 : 名、個人 : 名）平成 年 月 日現在
【法人】 【個人】

名称	代表者	ホームページ	お名前	職業等
NPO法人	代表理事	http://www. .jp	公益 太郎	自営業
(公財)	代表理事		大阪 花子	会社員
(株)	代表取締役	http://www. .jp	—	

自らも宣言をされた団体・個人

これまでの宣言者 : 名（団体等 : 名、個人 : 名）平成 年 月 日現在
【法人】

名称	代表者	宣言	団体ホームページ
NPO法人	代表理事	大阪で、SIBを活用した貧困対策を実施します。	http://www. .jp
【個人】			
お名前	職業等	宣言	
大阪 花子	自営業	高校が甲子園で優勝したら、大阪のスポーツ振興のために 円寄付します。	

(参考) フィランソロピー都市宣言の枠組み等について (第8回準備会資料)

「フィランソロピー都市宣言」

クレジット：「民都・大阪」フィランソロピー会議

- ・「民都」として民の力を最大限に活かす都市を実現
- ・大阪の取組みを国内外に発信。日本・世界中から第2の動脈（フィランソロピー・キャピタル）として資金や人材を集める。
- ・非営利の活性化だけでなく、新たな産業や市場、雇用を生み出し、大阪そして日本・世界の成長につなげる

内容については、会議で議論・検討

民都・大阪は、社会的課題解決を先導し、新たな未来を生み出す都市として、ここに「フィランソロピー都市」を宣言する。

賛同者への呼びかけ

単に宣言に賛同し、名を連ねてもらうにとどまらず、賛同者自身にも宣言（一斉・リレー形式）してもらうか。

公益活動を行なう団体等

< 宣言イメージ >

- ・地域のために良き人材を育成します（学校法人）
- ・SIBを活用した貧困対策を実施します。（NPO法人）
- ・「民都・大阪」に向けた取組みを応援します。（企業）
- ・ホームレスの自立支援を行ないます。（NPO法人）
- ・自社のCSRとして、森林保護に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。（企業）

（論点）対象、拡散方法をどうするか。

フィランソロピスト・寄付者等

< 宣言イメージ >

- ・高校が甲子園で優勝したら、大阪のスポーツ振興のために 円寄付します。
- ・利益の80%を大阪の貧困対策に寄付します。（社会的企業）
- ・寄附付き商品を販売し、こども食堂の資金として寄附します。（販売業）
- ・毎月1回は 市内で行われるボランティア活動に参加します

（論点）どのようにアプローチ・拡散していくか。